



サブタンク(全車種共通)

目次

- ① はじめに
- ② 取り付け
- ③ 取り付け後の点検
- ④ サブタンク各部の名称
- ⑤ サブタンクポジションの微調整
- ⑥ サブタンクの調整-2WAY
- ⑦ サブタンクの調整-3WAY
- ⑧ リバウンド側の調整

この取扱説明書は、アラゴスタサブタンクシステムの正しい取り扱い方法を説明しています。万一、取り扱いを誤ると重大な事故や故障の原因となりますので、取付け及びご使用前には、必ず本書をお読みください。

①【はじめに】

- 当製品は、精密部品です。減衰の調整も含め、取付けは十分な知識を持った専門のショップで行ってください。
- ご使用時には必ず携帯し、安全にご利用ください。本製品を譲渡転売等される場合も、必ず本書を添付して下さい。
- 取付け及び車高調整は、陸運事務所の定める認定工場、指定工場及びそれに準ずる専門ショップで行って下さい。
- 本製品は日本国内での使用を目的として開発されたものです。
- アラゴスタサブタンクシステムは、原則としてクレームには応じかねますので、予めご了承下さい。また、車体に改造が施されていたり、純正でない部品が取付けられていた場合、または日常点検を怠ったために発生した事故等については、一切の責任を負いません
- 当製品を取り付ける前に、本取扱説明書を熟読し十分な理解の下作業を進めるようにしてください。
- 当製品は購入日より3ヶ月以内に正規の使用状況に於いて製品上の問題があった場合のみ、保証の対象となります。購入記録(購入日、購入内容の証明となる物)を大切に保管してください。違法改造車輛(エンジン、駆動系、サスペンション等の改造)、他社製品の部品を用いての組付け、仕様の改造変更等を行っての装着、日常点検を怠ったために発生した事故等については一切の責任を負いかねます。

本書では正しい取扱いに関する項目を下記のシンボルマークで表示しています。

- ▲警告 取扱いを誤ると、死亡を含む重大な傷害や損失を招く可能性がある場合。
- ▲注意 取扱いを誤ると、傷害、または物的損害を招く可能性がある場合。
- ※ 仕様の変更等で、図や内容が一部実物と異なる場合がありますので、ご了承ください。

②【取付け】



- サブタンク取り付けのさい、他の部品に干渉しないよう十分な注意を払ってください。
- 必要であれば、サブタンク本体の取り付け位置を微調整してください。
- サブタンクは、精密部品です。軽い接触でも重大な欠陥を招く恐れがあります。

③【取付け後の点検】

ショックアブソーバー交換後には整備要領書に従い、点検、整備して下さい。



- 取付け後は、必ず各取付け部の位置ずれや緩み、ガタのないことをご確認下さい。
- 可動部分に干渉や接触等のないことをご確認下さい。
- サブタンクを調整するさい、フルハードでの使用は、絶対におやめください。破損の原因になります。

装着後は急激な操作を避け、速度を抑え100km程度のならし走行を行って下さい。内部の馴染みを良くする事により、製品寿命を長くすることができます。



- ハンドル操作をご確認ください。
- その他各走行、制動装置をご確認ください。

④【サブタンク各部の名称】



■ ブラケットタイプ概略

- ① ショックアブソーバー本体
 - ② ショック全長調整用口ポテンチー
 - ③ サブタンクブラケット
 - ④ サブタンクブラケットロックリングナット
 - ⑤ サブタンク本体
 - ⑥ 2WAY-ハイスピードアジャスター
 - ⑦ 3WAY-ロースピードアジャスター
- 以上の構成となります。



■ ホースタイプ概略

- ① ショックアブソーバー本体
- ② ホースジョイント
- ③ サブタンクコネクティングホース
- ④ サブタンク本体
- ⑤ 2WAY-ハイスピードアジャスター

⑤【サブタンクポジションの微調整】



- ブラケットタイプのポジションは、出荷時に設定された位置にて固定され出荷しています。
- 従って、調整は必要最小限の移動に留めるよう留意願います。



■ 微調整の手順-1

- ① 出荷時サブタンクは、設計上のポジションで工場において固定され出荷します。
- ② 固定は、ロックリングナットで行います。
- ③ まずは、出荷時の状態で仮組みを行い各部のクリアランス確認を行って下さい。
- ④ クリアランス確認で不具合が生じた場合のみ微調整を行って下さい。



■ 微調整の手順-2

- ① キットに付属されている引っ掛けレンチを使用して、ロックリングナットを緩めます。
- ② レンチを確実に固定しリングナットを緩めてください。
- ③ リングナットは、約 1 回転緩めてください。



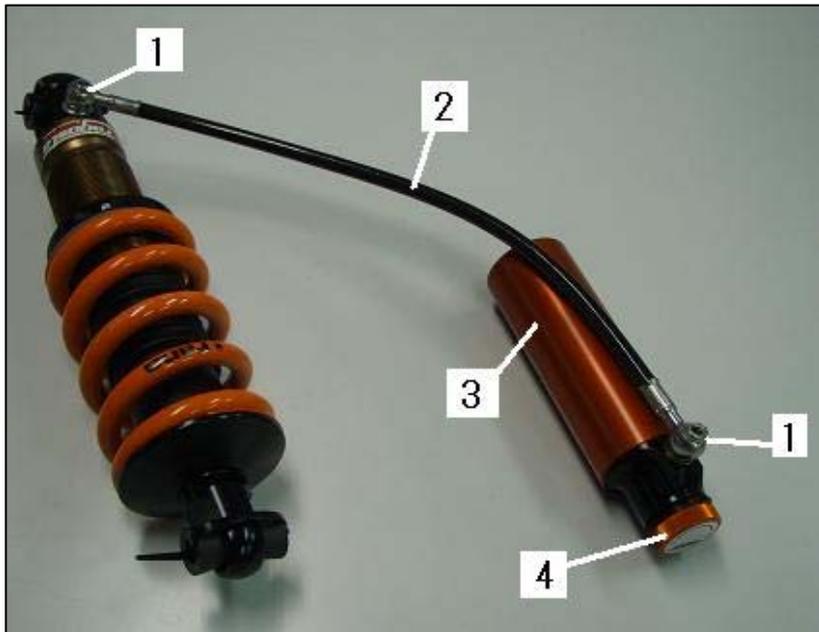
- ④ サブタンク本体を手で押さえ、矢印の方向へ移動してください。
- ⑤ 移動は、必要最小限にとどめてください。
- ⑥ リングナットは、1 回点緩めたところで止めて置いてください。
- ⑦ それ以上サブタンクブラケットが下がらないようにするためです。
- ⑧ 調整後、再度引っ掛けレンチを使用しロックリングナットを締め、ブラケットを固定してください。



- ⑨ サブタンクブラケットの中には、O-リングが 2 本入っております。
- ⑩ ロックリングナットを必要以上に緩めブラケットを下に下げると O-リングが外れ、オイル漏れ、ガス抜けを起し使用不能になります。

サブタンクブラケットを必要以上に下げないこと。

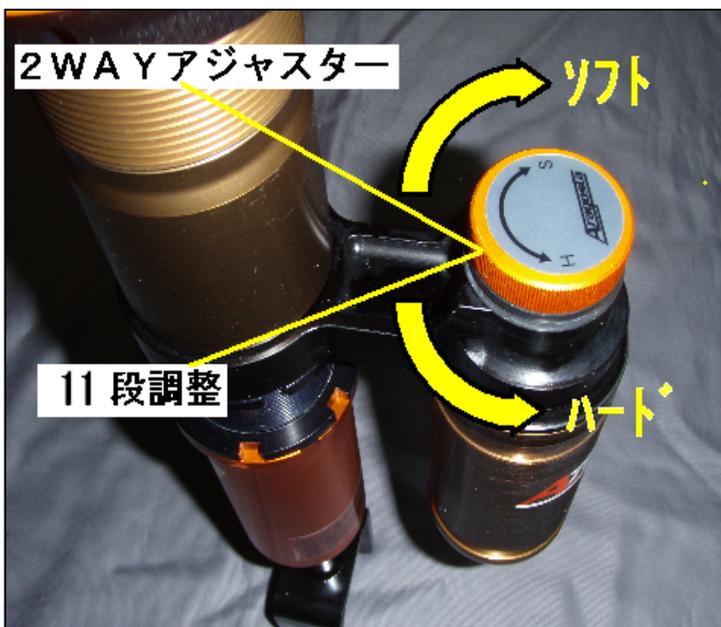
⑤【サブタンクホースタイプの取り付け】



■取り付けに際して

- ① ホースジョイント部は、可動式です。ホースがムリなく取り付けポジションを車体側に探して下さい
- ② ホースは、サスペンションの上下動、回転に対しホースが張るようなことが無いよう注意して取り付けてください。
- ③ サブタンクボディ部は、ラバーマット等で保護してその上から、タイラップ等で取り付けてください
- ④ 取り付けの際アジャスターは、手で調整し易い方向に取り付けてください

⑥【サブタンクの調整-2WAYハイスピードアジャスター】



■ブラケットタイプ

このハイスピードアジャスターでダンパースピード 0.1m/s 以上のパンプ側領域を独立して調整することが出来ます。

※ 調整のさいパンプ側減衰は、リバウンド側の影響をほとんど受けません。

※ ハイスピードの調整段数は、11段調整です。

※ ハイスピードのフルハードは、

反時計回り方向に締切った所です。

- ① 調整ノブを手で反時計回りに締めてゆきます。
- ② 締めこんだところがフルハードです。
- ③ そこから反対に1段緩めたところがポジション1になります。

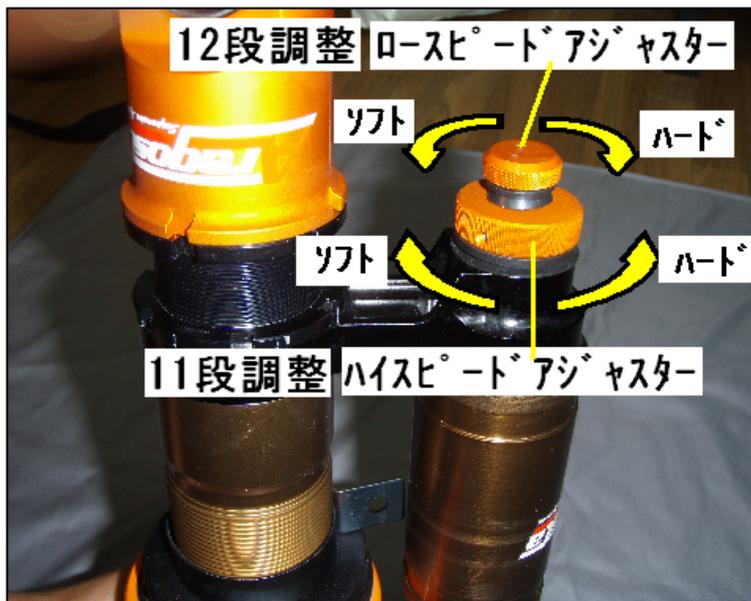
フルハードで使用することは、避けてください。

■ホースタイプ

- ① 調整方法は、ブラケットタイプと共通です。



⑦【サブタンクの調整-3WAYロースピード/ハイスピードアジャスター】



※ このロースピードアジャスターでダンパースピード 0～0.1m/s のバンプ側領域を独立して調整することができます。

※ ロースピードの調整段数は、12 段調整です。

※ ロースピードのフルハードは、時計回り方向に締切った所です。

- ① ハイスピードアジャスターを手で固定し、ロースピードアジャスターを手でつまみ時計回りに締めてゆきます。
- ② 締めこんだところがフルハードです。
- ③ そこから反対に1段緩めたところがポジション1になります。

フルハードで使用することは、避けてください。

- ④ ハイスピード側を調整するとき、ロースピード側のノブと一緒に回りますが、正常です。
- ⑤ ロースピード側を調整するとき、ハイスピード側のノブを手で固定し回らないようにして、調整してください。
- ⑥ 出荷時は、どちらもフルソフトで出荷されます。

⑧【リバウンド側の調整】

※ リバウンド側の減衰調整は、通常のダンパートップで行います。

※ 使用方法、調整段数等は、汎用取扱い説明書に書かれているとおりです。